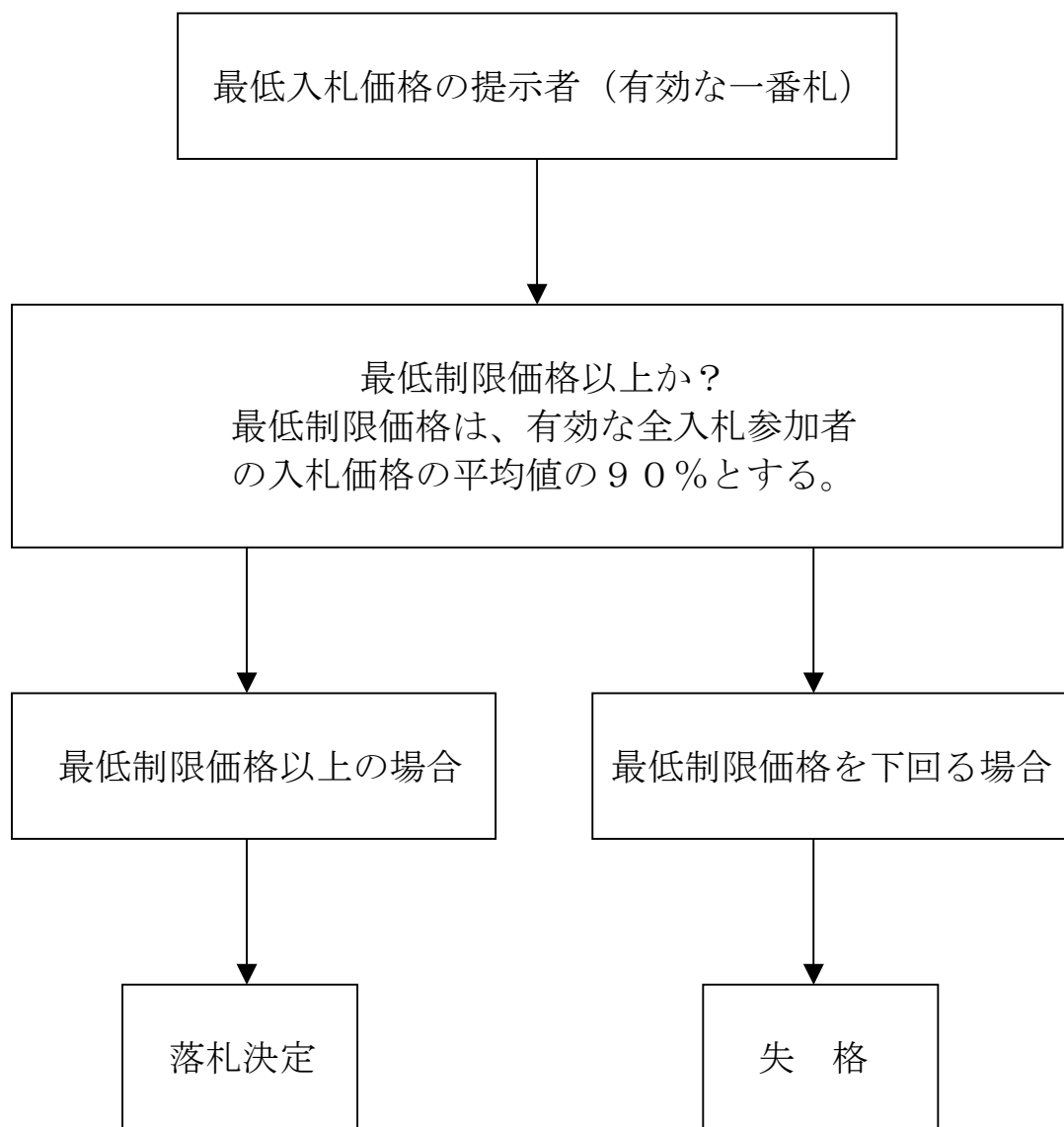


変動型最低制限価格制度の適用方法フロー図



次順位者に判定を移行

- 1 希望価格以上の入札については、無効とし最低制限価格の算出からは、除外する。
- 2 有効な入札者が1者の場合は、予定価格の3分の2を平均価格とし、その平均価格の90%が最低制限価格となる。

＜変動型最低制限価格制度の適用例＞

事例① 全部が有効な入札の場合

予定価格（事前公表） 10,000,000 円	
希望価格（事前公表） 9,000,000 円	
最低制限価格 7,000,000 円	A社 ● B社 ● C社 ● D社 ● E社 ○落札（7,500,000 円） （ <u>A社、B社、C社、D社、E社の平均価格×90%</u> ） ※E社が落札となります。

事例② 無効な入札が1者（A社）の場合

予定価格（事前公表） 10,000,000 円	A社 ●無効（9,500,000 円）
希望価格（事前公表） 9,000,000 円	B社 ○ C社 ○ D社 ○落札（7,500,000 円）
最低制限価格 7,000,000 円	（ <u>B社、C社、D社、E社の平均価格×90%</u> ） E社 ●失格（6,800,000 円）（有効） ※ D社が落札となり、A社（希望価格を超えている。）は無効となり、E社（最低制限価格以下）は失格となります。

事例③ 有効な入札が1者（C社）だけの場合

予定価格（事前公表） 10,000,000 円	A社 ●無効（9,500,000 円）
希望価格（事前公表） 9,000,000 円	B社 ●無効（9,200,000 円）
最低制限価格 5,999,000 円	C社 ○落札（7,000,000 円） (予定価格×2/3×90%) ※ C社の落札となり、A社とB社（希望価格を超えている。）は無効となります。

事例④ 有効な入札が1者（C社）だけの場合

予定価格（事前公表） 10,000,000 円	A社 ●無効（9,500,000 円）
希望価格（事前公表） 9,000,000 円	B社 ●無効（9,200,000 円）
最低制限価格 5,999,000 円	C社 ●失格（5,700,000 円）有効 (予定価格×2/3×90%) ※ A社とB社（希望価格を超えている。）は無効で、C社（最低制限価格以下）は失格となり、この入札は不調となります。